

令和2年第5回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

表 題	令和2年第5回(9月)定例会 一般質問通告書について																																																													
内 容	<p>9月17日(木)から行われる、令和2年第5回(9月)定例会における一般質問について、27人の議員から通告書の提出がありました。</p> <p>各日の質問予定者氏名、順番、内容は以下のとおりです。</p> <p>なお、各日の質問予定者は、変更になる場合があります。</p> <p>●各日の質問予定者</p> <table border="1" data-bbox="379 595 1085 1973"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>順番</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">9月17日 (木)</td> <td>1</td> <td>宮崎 朋子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>小山 ようこ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>江口 修一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>杉田 勝典</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>滝沢 一成</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>橋本 洋一</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>山田 忠晴</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">9月18日 (金)</td> <td>8</td> <td>丸山 章</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>こんどう 彰治</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>石田 裕一</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>牧田 正樹</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>上野 公悦</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>本山 正人</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">9月23日 (水)</td> <td>14</td> <td>高橋 浩輔</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>宮川 大樹</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>中土井 かおる</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>大島 洋一</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>鈴木 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>田中 聡</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>栗田 英明</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">9月24日 (木)</td> <td>21</td> <td>高山 ゆう子</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>小林 和孝</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>橋爪 法一</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>平良木 哲也</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>渡邊 隆</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>安田 佳世</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>宮越 馨</td> </tr> </tbody> </table>	日	順番	氏名	9月17日 (木)	1	宮崎 朋子	2	小山 ようこ	3	江口 修一	4	杉田 勝典	5	滝沢 一成	6	橋本 洋一	7	山田 忠晴	9月18日 (金)	8	丸山 章	9	こんどう 彰治	10	石田 裕一	11	牧田 正樹	12	上野 公悦	13	本山 正人	9月23日 (水)	14	高橋 浩輔	15	宮川 大樹	16	中土井 かおる	17	大島 洋一	18	鈴木 めぐみ	19	田中 聡	20	栗田 英明	9月24日 (木)	21	高山 ゆう子	22	小林 和孝	23	橋爪 法一	24	平良木 哲也	25	渡邊 隆	26	安田 佳世	27	宮越 馨
日	順番	氏名																																																												
9月17日 (木)	1	宮崎 朋子																																																												
	2	小山 ようこ																																																												
	3	江口 修一																																																												
	4	杉田 勝典																																																												
	5	滝沢 一成																																																												
	6	橋本 洋一																																																												
	7	山田 忠晴																																																												
9月18日 (金)	8	丸山 章																																																												
	9	こんどう 彰治																																																												
	10	石田 裕一																																																												
	11	牧田 正樹																																																												
	12	上野 公悦																																																												
	13	本山 正人																																																												
9月23日 (水)	14	高橋 浩輔																																																												
	15	宮川 大樹																																																												
	16	中土井 かおる																																																												
	17	大島 洋一																																																												
	18	鈴木 めぐみ																																																												
	19	田中 聡																																																												
	20	栗田 英明																																																												
9月24日 (木)	21	高山 ゆう子																																																												
	22	小林 和孝																																																												
	23	橋爪 法一																																																												
	24	平良木 哲也																																																												
	25	渡邊 隆																																																												
	26	安田 佳世																																																												
	27	宮越 馨																																																												

令和2年第5回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	質問事項
議席氏名	
1	
6番 宮崎朋子	<p>1. コロナ禍で懸念される市内の雇用状況と事業について</p> <p>(1) 上越管内における昨年と今年の有効求人倍率の推移を聞きたい。</p> <p>(2) 市内企業雇用促進事業及び若手社員定着支援事業について、主な取組内容と課題を聞きたい。</p> <p>2. コロナ禍における経営者への雇用支援や対策について</p> <p>(1) 今後、経営者への雇用支援や対策にどのように取り組んでいくのかを聞きたい。</p> <p>3. 上越市のキャリア教育について</p> <p>(1) コロナ禍の社会の変化は、若者の勤労観や職業観にも影響を及ぼすと考える。令和元年度の上越「ゆめ」チャレンジ事業の成果及び今後の課題について聞きたい。</p> <p>4. 今後、コロナ禍で新たに求められる取組について</p> <p>(1) 「起業家を育てる環境と受け皿づくり」が必要と考えるが、市の考えを聞きたい。</p> <p>(2) コロナ禍において、「今こそ望まれるUIJターン事業の強化」について、市の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 「新しい働き方へのバックアップ」が必要と考えるが、市の考えを聞きたい。</p>
順位	質問事項
議席氏名	
2	
2番 小山ようこ	<p>1. 発達障害児への早期支援について</p> <p>(1) 現在、通級指導教室及び特別支援学級のある市立の小・中学校はどのくらいあるのか。また、利用している生徒・児童の数を聞きたい。</p> <p>(2) 早期に発達障害に気づき、適切な支援が受けられるようにしていくことが重要であると思うが、上越市における就学前の発達障害やその可能性のある子どもたちへの支援、取組について聞きたい。</p> <p>2. コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について</p> <p>(1) 上越市では、平成24年度から地域と共に学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」を市立の小・中学校で実施しているが、学校と地域住民との間の信頼関係を深め、学校運営に積極的に参画するためにどのような取組を行っているのか聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
3	
27 番 江 口 修 一	<p>1. 小木直江津航路について</p> <p>(1) 就航船舶について、「あかね」からジェットfoilへの変更が検討されているが、ジェットfoilでは車両航送や貨物の積載ができなくなる。市としてどのように考えているか。</p> <p>(2) 将来にわたって小木直江津航路を存続すべきと思うが、市はどのように考えているか。</p> <p>2. うみがたりのイルカの死亡について</p> <p>(1) 上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会の委員には、どのような専門家を選任したのか。</p> <p>(2) 今秋にも検証結果をまとめる方針であるが、教育委員会としてどう受け止め、どのような対応をしていくのか。</p> <p>3. 全小中学生への ICT 機器導入について</p> <p>(1) 上越市が目指す GIGA スクール構想の将来をどのように描いているか。</p> <p>(2) 教員を支援する研修が重要であると思う。その支援体制をどうするのか。また ICT 支援員のサポート体制をどのように考えているか。</p> <p>4. 行政改革の今後の在り方について</p> <p>(1) コロナ禍で税収の落ち込みが見込まれる中、今まで以上の行政改革が求められている。市民サービスの水準や事業を減らすことなく歳出の抑制を図るためには、公の施設の再配置を始めとした「合理化」、定員適正化などの「スリム化」、行政の ICT 化による「効率化」が重要と考えるが、今後の行政改革の方針を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
4	<p>1. 当市におけるデジタル化の推進について</p> <p>(1) 行政のデジタル化はコロナ禍で一層推進が叫ばれているが、当市における行政のデジタル化の現状をどう捉えているか。行政のデジタル化への加速に向け、全体的な課題をどう捉え、それらをどう解決すべきと考えているか。</p> <p>(2) 死亡後手続の簡略化に向け、死亡届の提出に当たり、タブレット端末を使い入力した情報が各種書類に転記され、1回の届出で10種類ほどの申請書類に反映されるようなシステムを作り、手続の煩雑さを軽減し市民の利便性向上を図ってはどうか。また、同様に、出生、転出入など市民ニーズの高い手続にICTを導入し、更なるワンストップ化を図れないか。</p>
26 番 杉 田 勝 典	<p>2. マイナンバーカードの交付等の状況、今後のカードの活用について</p> <p>(1) キャッシュレスによるポイント還元が終了し、9月から上限5,000円のポイントが付与される「マイナポイント事業」がスタートしたが、マイナンバーカードの交付状況及びマイナポイントの申込状況はどうか。</p> <p>(2) マイナンバーカードを利用したコンビニでの各種証明書の交付状況はどうか。</p> <p>(3) マイナンバーカードは今後様々な用途に活用されることが予定されているが、市の準備状況はどうか。</p> <p>3. 当市における「Go To トラベルキャンペーン」の取組状況について</p> <p>(1) 国の「Go To トラベルキャンペーン」は国会でも問題点など様々な論議が行われたと承知している。実際、このキャンペーンが実施されたことによる当市内でのホテル・旅館・民宿などの宿泊施設における現時点での効果をどのように捉えているか。また、宿泊業関係者がこのキャンペーンの関連で、特に強く要望していることは何であると考えているか。</p> <p>4. IT企業のサテライトオフィスの集積について</p> <p>(1) コロナ禍で全国的にリモートワークやテレワークの導入が普及している中、交通の要衝である当市の優位性を生かして、IT企業のサテライトオフィスの誘致に取り組み、IT企業のサテライトオフィス集積地として新たな展望を目指してはどうか。</p> <p>5. 公営住宅の入居申込みの課題について</p> <p>(1) 平成30年3月に国土交通省は、公営住宅の入居基準に関し、入居に当たっての保証人に関する規定の削除について通知したが、当市の現状及び今後の対応はどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	
21 番 滝 沢 一 成	<p>1. ウィズコロナ時代の教育について</p> <p>(1) コロナ禍により、今春の臨時休業を始め、様々な予期せぬ状況が学校教育に起きている。現在、まだコロナ禍の最中ではあるが、これまでを振り返り、様々な課題にどのように対処してきたのか。</p> <p>(2) 学習の進捗だけではなく、遠足、修学旅行、運動会、文化祭、夏休みなど、子どもたちの心身を育む行事等が軒並み影響を受けた。子どもたちの掛け替えのない体験や思い出をどう取り戻していけば良いのか。</p> <p>(3) コロナ禍によって、私たちは困難な時代を生きていくことになる。これから先、どのように子どもたちの学びや心身の育みを支えていくのか。学校教育はどうあるべきか。また、家庭、地域において私たち大人が今できることは何か。</p> <p>2. 高田城址公園の整備について</p> <p>(1) 高田城址公園の広い範囲の蓮に花がつかない。この惨状はここ数年続いている。その原因は何か。抜本的な手当てをすべき時が来ているのではないか。</p> <p>(2) 内堀の土塁上を再び市民が自由に散策できるように戻せないか。</p> <p>(3) 土塁地域、博物館裏、城周りなど夏草の繁茂が著しい。常に見苦しくなく整備することはできないか。</p> <p>(4) 禁止されているはずの内堀での釣りが頻繁に見られる。いっそ釣りを許可したらどうか。</p> <p>3. アスベスト問題について</p> <p>(1) アスベストを使用した民間の建屋の多くが取壊しの時期を迎えている。取壊しに多額の費用がかかり様々な軋轢をもたらしているなか、市として何らかの助成をすべきと幾度も要望してきたが、この間どう検討し、現在どのような方針を考えているのか。</p>

令和2年第5回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	質 問 事 項
議席氏名	
6	<p>1. 観光施策の見直しについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大と佐渡汽船「あかね」の売却問題が当市の観光施策に及ぼす影響について、現時点でどのように考えているか聞きたい。また、今後、観光施策の見直しに向けた検討が必要と考えるが、どうか。</p> <p>2. 公の施設の再配置計画について</p> <p>(1) 公の施設の再配置計画については、全地域協議会に対して今後の取組方針等についての説明を行っているとのことであるが、地域協議会の反応はどうか。また、廃止に関する諮問の時期についてどのように考えているか。</p> <p>3. 第三セクター等の統廃合の実施計画について</p> <p>(1) 第三セクター等の統廃合の実施計画は、地域協議会への諮問事項ではないとのことであるが、市民の関心の高さを考慮すれば、諮問に準じた説明が必要と考えるが、どうか。</p> <p>4. 避難所の感染症対策について</p> <p>(1) 避難所の新型コロナウイルス感染症対策に関して、職員研修や関係者との協議などの取組状況や、それらの取組を通じて寄せられた意見や要望にはどのようなものがあつたのか、聞きたい。</p>
15番橋本洋一	
順位	質 問 事 項
議席氏名	
7	<p>1. 障害者自立支援並びに手話言語条例について</p> <p>(1) 当市の自立・社会参加支援事業において、手話通訳・要約筆記派遣養成等事業が行われているが、この事業の現状を聞きたい。また、手話通訳者等の養成について、課題と対策を聞きたい。</p> <p>(2) 手話通訳・要約筆記派遣養成等事業について、令和元年度目標に「手話言語条例制定に向けて検討を進める。」とあるが、現在までの取組状況を聞きたい。</p> <p>(3) 市長による会見時に手話通訳者を配置する考えはないか。</p> <p>2. インフルエンザ流行期の対応等について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、初期症状が似ているインフルエンザの流行期到来が見込まれる時期を迎えることから、医療従事者や介護従事者、受験生等にインフルエンザワクチン接種費用を助成する考えはないか。</p>
11番山田忠晴	

順位	
議席氏名	質問事項
8	<p>1. 企業誘致について</p>
13番丸山章	<p>(1) 上越市統計要覧によると、平成21年に10,542事業所、従業者数は91,725人であったが、平成28年には9,490事業所、従業者数86,115人となり、7年間で1,052事業所、従業者数5,610人減っている。単純に計算すると年150事業所がなくなっているが、その原因は何か、どう分析しているのか聞きたい。</p> <p>(2) 市長は令和2年6月定例会の一般質問において、「市町村合併の際、各町村が持っていた産業団地を引き受け、それをどう取り扱うかという議論の中で企業誘致を行ってきた。いまだ分譲が進んでいない団地もあり、新たな産業団地を企業の要望に基づき造成するという状況にはまだ至っていない。現状、用地が不足しているという状況でないため、今ある団地を企業に活用してもらうことに注力していく」と答弁している。他方、有力企業が求める土地があり、新規の団地を造成すれば、雇用や税収が見込まれ、市内経済の発展にも寄与すると考えられるが、必要とする産業団地の造成をしないということなのか、企業誘致における根本的な考え方を聞きたい。</p> <p>(3) 当市は、「今後も市内の産業振興を基本とし、その発展に資するような企業誘致に取り組んでいく」としているが、内向き思考が強すぎるあまり、他産業の企業誘致に対して消極的になっていると感じる。日本・世界経済の動向をにらみ、新たな分野の企業誘致を積極的に推進するとともに、地元企業の育成や新規事業の創出など、雇用の促進が図られるよう、民間活力を存分に発揮できる環境整備が大切である。令和2年6月定例会における一般質問の回答では、企業誘致を成功させていく気概が感じられない。改めて、将来を見据えた企業誘致ビジョンの策定が重要と考えるが、どうか。</p> <p>(4) 令和2年6月定例会の一般質問において、「新しい概念としてワーカー誘致のような感覚を持ちながらしっかり企業誘致に取り組んでいくので、期待してほしい」とのことであるが、企業誘致の成果を上げるための秘めたる戦術・作戦・戦略を聞きたい。</p> <p>(5) 企業誘致の成功には、企業誘致のノウハウ等、先進地の取組に学ぶことや、独自の調査研究、プロジェクトを立てることが大切になる。また、IT業界等では、リモートワークの導入に伴い入居オフィスが整っているかがポイントになると考える。時代の変遷とともに整備事業も異なってくるため、相応の組織体制を整える必要がある。企業誘致に関わる市の職員体制について、現在の5人体制で十分としているがとてもそうは思えない。企業誘致を成功へ導くことは、人口減少問題の課題を克服することに深く関わることから、円滑な企業誘致に結び付けるため、関連部署が一体かつ横断的に対応できる全庁的なプロジェクトチームを編成し、結果を出すことが大切であり、ひいては市民の期待に応えることになると思うが、どうか。</p>

順位	
議席氏名	質問事項
9	<p>1. 市内における外国人労働者の実態について</p> <p>(1) 市内において、労働力人口不足により、外国人労働者に頼る傾向が散見される。このような実態を踏まえて、市内における外国人労働者の受入れ状況をどう把握しているのか聞きたい。</p> <p>(2) 外国人労働者の受入れ・共生のため、市では、総合的対応策としてどのような支援をしているのか聞きたい。</p> <p>(3) 今後、人口減少や少子高齢化が進む中で、外国人労働者の貴重な労働力が必要となると思うが、市の考えを聞きたい。</p>
30番 こんどう 彰治	<p>2. 公の施設の再配置計画について</p> <p>(1) 金谷地区公民館について、令和元年9月定例会における一般質問に対する答弁では、金谷地区内での整備を前提に、令和2年度末までに方向性を明らかにしているが、現時点の方向性を聞きたい。また、令和2年3月の地域要望を受け、市は地域住民と話し合うとしているが、実際に行ってきたのか聞きたい。</p> <p>(2) ヨーデル金谷が再配置候補施設として掲げられており、今後の方向性の案では、貸付又は譲渡とされている。令和2年8月に金谷区地域協議会で行った説明では、民間譲渡(貸付)を推進し、譲渡(貸付)先がなければ廃止するとしており、令和3年度に完了の計画としている。詳細について聞きたい。</p> <p>3. えちご・くびき野 100km マラソンについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの影響により、全国各地でマラソン大会が中止されている。えちご・くびき野 100km マラソンも例外ではなく、中止を余儀なくされた。ランナーの目標である大会が中止されると、モチベーションも低下してしまう。令和2年6月定例会でも次期開催について質問したが、その後の検討状況を聞きたい。また、ランナーのモチベーション維持のためにも早急に決定すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(2) 今年度の中止により、大会に4年間の空白が生じた。次期開催が来年か再来年かの判断が委ねられているが、ランナーは早期開催を望んでいる。市の考えを聞きたい。</p>

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
10		
18番 石田裕一	<p>1. 成人式について</p> <p>(1) 令和2年度の成人式の中止について、新型コロナウイルス感染予防に努め、分散してでも何とか開催することはできなかったのか。</p> <p>(2) 成人式の中止により、振袖や袴等のレンタルを予定していた新成人の皆さんは、当日に振袖等を着ることができず、同時にキャンセル料が発生する。それに対する支援が必要と考えるが、どうか。</p> <p>(3) 令和3年度の新成人は、振袖等のレンタルを決めるのに悩んでいるとともに、もう遅い状況にある。現段階において、次年度は新型コロナウイルス感染予防に努め、開催日や分散開催などについて検討し、必ず開催することを早急に示す必要があると思うが、どうか。</p> <p>2. コロナ禍におけるごみ収集運搬事業者への支援体制について</p> <p>(1) 市民の生活に一番密着しているごみ収集及び運搬を行う事業者において新型コロナウイルス感染者が発生した場合、その事業者が一定期間事業を停止するという懸念がある。その際に、他のごみ収集運搬事業者が対応、支援できる体制を整える必要があると考える。そういった検討は行われているのか。</p> <p>3. コロナ禍における除雪事業者への支援体制について</p> <p>(1) 令和2年度の除雪計画について準備が進んでいると思うが、冬期の市民の生活道路の確保を担う除雪は大変重要と考える。除雪を担当する事業者で新型コロナウイルス感染者が発生した場合に、その担当区間の除雪作業の停止が懸念される。このような懸念に、市はどう対処する考えか聞きたい。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
11		
12番 牧田正樹	<p>1. 子どもの人権を守る取組について</p> <p>(1) 現在、市立小・中学校ではどのような人権教育が行われているか。</p> <p>(2) 市立小・中学校における過去3年のいじめの認知件数の推移はどうか。また、その傾向についてどう捉えているか。</p> <p>(3) いじめをなくす取組として「CAPプログラム」を市立小・中学校で実施する考えはないか。</p> <p>2. 関川水辺プラザ整備事業について</p> <p>(1) 関川水辺プラザ整備事業の当初計画から現在までの経緯について聞きたい。</p> <p>(2) 近隣住民は早期の土砂の撤去と土地の有効利用を望んでいる。今後の活用についてどのように考えているか。</p>	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
12	
29 番 上 野 公 悦	<p>1. コロナ禍における対応と支援策について</p> <p>(1) 感染リスクが高く、極めて重要な分野に携わる医療や介護従事者、保育園や学校関係者へのPCR検査等の実施について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 国及び県の責任において定期的に検査する必要があると考えるがどうか。</p> <p>イ 検査費用は全額公費負担とするよう、市としては国及び県に積極的に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 市の各種公共料金の減免や納税猶予などの支援策が随時終了していくが、新型コロナウイルスの収束まで継続すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) ひとり親家庭、特に母子世帯に対する生活支援について以下の点を聞きたい。</p> <p>ア コロナ禍での就労や収入への影響をどう捉えているか。</p> <p>イ 国の「ひとり親世帯臨時特別給付金」の再支給など、各種支援策の拡充を国に求めるとともに、市としてもさらなる独自支援を行う考えはないか。</p> <p>2. 小木直江津航路におけるカーフェリー就航の存続について</p> <p>(1) 経済的位置づけとして絶対に外せない2つの柱である物流維持と観光戦略の側面から、カーフェリーの就航存続は必要不可欠であると考えているが、どう考えるのか。また、カーフェリー存続を佐渡汽船や新潟県に強く働きかけるべきであると考えているがどうか。</p> <p>3. イノシシによるほ場や農作物への被害について</p> <p>(1) イノシシによるほ場や農作物への被害が深刻になっている。被害の実態をどう捉えているか。</p> <p>(2) 被害防止のためのより有効な対策が緊急に求められている。現状においてどのような対策を行っており、効果をどのように検証・評価しているのか。また、より有効な対策についてどう考えているのか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
13	<p>1. 空き家対策について</p> <p>(1) 近年、人口減少及び超高齢化社会の到来と核家族化の進行等に伴い、適正に管理されていない空き家・特定空き家等が増加している。空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されてから5年が経過し、空き家に対する意識も広まりつつあるが、空き家は一向に減らず、むしろ増えている。地域の町内会との連携を強化して、対策を講じる必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 宅地に対する税制上の特例措置の存在が、特定空き家等の除却が進まない要因の一つであると考えられるがどのように捉えているか。また、家を新築する時に解体や処分費を基金として納めるなど、他の自治体に無い対策を講じる考えがあるか聞きたい。</p> <p>(3) 空き家の利活用について、広く情報提供を行うとともに空き家情報バンクの更なる充実を図るべきと考えるがどうか。</p>
14 番 本 山 正 人	<p>2. 移住・定住支援について</p> <p>(1) 人口減少問題を考えた時、地方への移住・定住支援の取組は重要と考える。自治体が移住・定住支援に取り組む際には、仕事や生活などをトータルで支援する必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 移住支援の一環として、お試し移住ハウスは欠かせないと考えるが、新たに取り組もうとする市民に対し、どのように支援するか聞きたい。</p> <p>(3) 移住を検討中の人に当市を何回も訪れてもらうため、例えば、地域の良いところや冬期の生活環境等を見て体験していただくためのガイド支援や交通費の補助制度など、きめ細かな支援が必要と考えるがどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
14	<p>1. 強度行動障害がある人とその家族への支援について</p> <p>(1) 強度行動障害がある人とその家族は、強度行動障害の障害特性ゆえに様々な困難を抱えている。そうした方々に対する福祉サービス等の提供状況を聞きたい。</p> <p>(2) 更に支援体制を充実させていくために克服すべき課題はあるか。また、その課題にどう対応していくのか聞きたい。</p>
5 番 高 橋 浩 輔	<p>2. 障害のある人の「親亡き後」について</p> <p>(1) 障害のある人の保護者にとって最も切実な問題は、「障害のある人の親亡き後」のことである。障害のある人の保護者が亡くなった後も、障害のある人が安心して生活していける体制づくりが必要と考えるが、どうか。</p> <p>3. 「障害者差別解消法」施行後の取組の成果と課題について</p> <p>(1) 平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行され、4年が経過した。現在の上越市における障害を理由とする差別の現状について聞きたい。</p> <p>(2) 「障害者差別解消法」の趣旨を具現化するため、平成29年4月に「上越市障害者差別解消支援地域協議会」が設置されている。設置から3年が経過したが、これまでの活動実績や明らかになった課題について聞きたい。また、今後の取組の方向性等について聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
15	<p>1. 新型コロナウイルス感染症における差別解消への取組について</p> <p>(1) 8月31日現在、日本国内における新型コロナウイルス感染症の感染者数は約6万8千人を数え、国県市問わず健康面や経済面を始め多岐にわたる対策を講じている。そのような中、感染者やその家族に対する誹謗中傷が起きていることが社会問題となっている。これらを踏まえ、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染者に対する差別や偏見の解消について、どのように取り組んでいるか聞きたい。</p> <p>イ 他市では、新型コロナウイルス感染者に対する差別解消に向けて様々な取組が行われている。見附市で配信している漫画「安心して感染したい」のようなメッセージの発信や、松山市や浜松市を皮切りに全国的に広まりつつあるシトラスリボンプロジェクトを当市でも導入してはどうか。</p> <p>2. 高田城址公園の在り方について</p> <p>(1) 令和2年4月に高田公園から高田城址公園へ名称変更された。コロナ禍において、名称変更のPR不足とを感じるが、今後のPRをどのように考えているか。あわせて、高田城址公園のシンボルである高田城は、徳川家康の天下普請の上下杉景勝公らにより築城されていることに鑑みて、高田城址公園のPRにも、越後上越上杉おもてなし武将隊に参加してもらい、イベントやPVで積極的なPRを図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 文化庁は、令和2年4月17日に文化審議会文化財分科会において、復元基準が緩和へ見直しされ、今まで必須条件とされていた「指図及び外観や意匠の確認」の項目が十分でなくても復元を認めると変更された。これを受け、櫛形門や本丸御殿の復元に関する市の考え方と今後の展望を聞きたい。</p>
順位	質 問 事 項
議席氏名	
16	<p>1. デイサービス利用者の社会参加について</p> <p>(1) 厚生労働省は、2011年4月から地域密着型デイサービスにおいて、介護保険サービス利用者のボランティア活動に対する謝礼の受け取りを認めている。介護保険サービス利用者が社会参加することで、本人の生きがいとなるような取組を進めてはどうか。</p> <p>2. 配慮を要する独居・高齢者世帯の災害時の避難体制について</p> <p>(1) 今後、ますます独居・高齢者世帯が増加すると予想される中、近年、当市において水害の危険性が危惧されている。町内会では要配慮者の個別避難計画を策定し、災害時における地域での支えあいの強化を図っているが、要配慮者自身が避難行動要支援者名簿の登録を希望しない場合、市はどのように支援していくのか。</p>
8番中土井かおる	

順位	質 問 事 項
議席氏名	
17	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策の総括と今後について</p> <p>(1) 今日までの新型コロナウイルス感染症対策を現時点でどのように総括しているのか聞きたい。市民の安心・安全、健康が十分に守られたのか、医療体制や経済対策、市民の疑問・質問に答える体制はどうか。</p> <p>また、令和2年7月以降、10代、20代の感染者が増えているが、感染予防の周知はどうか。通勤、通学時の三密対策はどうか。救急患者ではどうか。クラスターの状況になった場合の医療体制は大丈夫なのか。</p> <p>(2) これから秋、冬に向けて、インフルエンザの流行も予想されるが、今後の新型コロナウイルス感染症対策をどう考えているか聞きたい。特に新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ患者双方の診療場面での対応を聞きたい。</p> <p>2. コロナ禍における今後の産業振興・立地政策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響で、本社機能の地方移転やサプライチェーンの見直し、U I Jターンを考える人の増加といった現象が増えている。この状況を踏まえ、当市の今後の産業振興・立地政策について、見直しが必要と考えるがどうか。</p> <p>3. 中速新幹線について</p> <p>(1) 新潟市から上越市間の中速新幹線を早急に検討し、早期実現を図るべきと考えるがどうか。</p>
順位	質 問 事 項
議席氏名	
18	<p>1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響による出生数の減少について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、若者が雇用や収入への不安から、結婚と出産に慎重となり、世界規模で出生数が1割減少すると予測され、この影響は出産を遅らせるだけでなく、子どもの数を減らすおそれがあると指摘されている。当市の人口推移及び政策への影響をどう考えているか。</p> <p>2. コロナ禍における子育て世帯への支援について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、赤ちゃんや新しい生命を宿した妊婦さんがいる家庭は、感染への不安を抱え、制限された生活を送っており、大変厳しい状況である。そこで、国の特別定額給付金の対象外となった令和2年4月28日以降に生まれた新生児を対象に、給付金を支給すべきと考えるがどうか。また、コロナ禍で頑張っている子育て世帯に、現在どのような支援を行っているのか。さらに今後も支援を行う必要があると考えるがどうか。</p>
3番 鈴木 めぐみ	

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
19		
17 番 田 中 聡	<p>1. 木田庁舎整備事業について</p> <p>(1) 令和3年度に予定されている庁舎再編について、部局の配置やスケジュールについて現時点で公表できる範囲で聞きたい。</p> <p>(2) 木田第1庁舎におけるユニバーサルデザインへ対応するための改修工事について、現状での設計概要について聞きたい。また、木田第1庁舎から現ガス水道局庁舎への移動の安全を確保するため、歩道整備などの考えについて聞きたい。</p> <p>(3) 木田第1庁舎の長寿命化を図っているが、将来に向けた庁舎整備基金の創設の考えはないか聞きたい。</p> <p>2. 台風被害未然防止のための重要インフラ周辺の森林整備について</p> <p>(1) 昨年台風被害を受けた千葉県いすみ市では、台風に備えた予防伐採を強化するなど新たに取組が始まっている。近年の度重なる台風被害では、倒木による交通への支障や停電が長期化するケースが目まぐるしく注目されているが、重要インフラ周辺の森林整備について当市としてどのように考えているか。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
20		
25 番 栗 田 英 明	<p>1. 各種基本計画の見直しについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止・延期が各種の計画に大きな影響を与えていることと思う。事業の変更だけでなく、計画そのものの見直しが必要なケースもあると思われる。以下の項目について、現況と方針、見解をお聞きしたい。</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症の発生による事業執行への影響はどれくらいか。</p> <p>イ 各種の計画に与える影響も大きいが見直しや修正をどうしていくか。</p> <p>ウ 上越市第6次総合計画にも影響があると思うがどうか。</p>	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
21	<p>1. 市民の移動手段となる公共交通機関の役割について</p> <p>(1) 市内を走る路線バスの運行について、昨年、交通政策調査対策特別委員会で再編の方向性について協議し、第2次上越市総合公共交通計画(令和2年度～令和9年度)が策定された。市では、路線バスの運行に毎年約3億～4億円の支援を行っているが、大型路線バスの乗車人数が少ない状況に心を痛めている市民も多い。今後、バス路線の再編にあたり、バスを小型化していく予定はあるのか。</p> <p>(2) 今後、高齢化に伴う免許返納の増加に伴い、市民の移動手段となる公共交通機関の役割は更に重要になっていく。バス路線の再編により今後オンデマンドバス等の運行になった場合、バスの乗降場は原則バス停であると思うが、利用者の利便性を高めるため、乗降場は柔軟に対応してもらえるのか。</p>
7 番 高 山 ゆ う 子	<p>2. 女性防災リーダーの育成について</p> <p>(1) 大災害によりライフラインが止まり、長期の避難所生活となった場合、コロナ禍対応と同時に女性のプライバシーへの配慮が必要となる。避難所開設時にはトイレや着替え、授乳などを考慮し、的確に男性とのゾーニング分けと運営ができる女性の防災リーダーが必要であり、その育成指導が急がれる。そのために、上越市防災士会の女性防災士や女性消防団員を始め、女性職員や市民で参加したい女性も含め、女性防災リーダー育成のための研修会を実施してはどうか。</p> <p>3. 上越市活性化のため頑張る市民活動団体への応援支援金制度の創設について</p> <p>(1) 現在、上越市では各地域自治区で行っている事業への支援はあるが、地域自治区を越えて活動を行っている市民活動団体に対する事業支援はあるか。ないのであれば、上越市全体の活性化のために頑張っている市民活動団体が、地域自治区を越えて行う事業への応援支援金制度を創設してはどうか。</p>

令和2年第5回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	質 問 事 項
議席氏名	
22	<p>1. 市内各所でみられる浸水被害の対応について</p> <p>(1) 市内各所でゲリラ豪雨のような激しい雨により、道路冠水や側溝などの溢水がみられる。市では雨水管理総合計画を策定したが、計画に登載されない地区の浸水対策について、どのような対応をしているか聞きたい。</p> <p>2. 城跡を核とした観光誘客及び市内周遊の促進について</p> <p>(1) 市では、4月から春日山城・高田城の御城印の頒布を行っており、高田開府の日や謙信公祭では、金字の特別版を頒布した。これら御城印作成に至った経緯について聞きたい。</p> <p>(2) 御城印には、観光誘客や市内周遊の効果があると考えますが、春日山城・高田城のみならず、市内にある様々な城跡について、御城印や御城印帳を作成し、更なる観光誘客や市内周遊の促進を図る考えはないか。</p>
19番 小林和孝	
順位	質 問 事 項
議席氏名	
23	<p>1. 農業問題について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症が明らかにした日本の農業政策の問題点をどう認識しているか聞きたい。</p> <p>(2) 改定された農林水産省の「食料・農業・農村基本計画」をどう見ているか。</p> <p>(3) これからの上越市の農業を発展させるためにどうする考えか。</p> <p>2. 原子力発電所対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス問題の対応が求められる中で、原子力災害時の避難計画で検討すべき課題と今後の対応について聞きたい。</p> <p>(2) 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働をめぐり、同意を求める自治体の範囲について新たな動きが出ているが、改めて市長の考えを聞きたい。</p>
31番 橋爪法一	

順位	
議席氏名	質問事項
24	
20番 平良木哲也	<p>1. 小中学校における少人数学級の実現について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、児童・生徒間の十分な距離を保った上で教育活動を継続し、子どもたちの学びを保障するためには、20人程度の少人数学級が必要ではないか。</p> <p>(2) 少人数学級の実施を可能とするために、小中学校の教員の抜本的な増員を図るよう、県及び国に強く求めている。同時に、経過措置として、市独自で加配してはどうか。</p> <p>2. 病院の在り方について</p> <p>(1) 厚生労働省は昨年9月に一方的に病院名を公表し、公立・公的病院の再編を求める姿勢を撤回していない。また、新潟県は柿崎病院など4つの県立病院を市町村主体の経営にするという姿勢を変えていない。これに対し市としても、市民の命と健康を守るために各病院を守り抜く姿勢を堅持し、毅然と対応していると考えられる。これまでに市と国及び県の間で行われた協議ないしは意思のやり取りの経緯を改めて聞きたい。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、ICUをはじめとした新型コロナウイルス感染症患者受入れのための病床の確保と、十分なスタッフの増員が求められている。このことは、病院の統合・再編や県立病院を市町村主体の経営にすることではなく、各病院の機能強化と広域的な経営母体の維持が必要であることを示している。市として、こうした新たな視点で各病院を守り、充実させるよう国や県に求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染拡大から市民生活を守る上での緊急課題について</p> <p>(1) 保育士の配置基準や面積基準など、保育基準を市として独自に上乘せし、それに応じた措置を講じてはどうか。</p> <p>(2) 市内の各医療機関及び介護事業所に対し、市として緊急の支援を行ってはどうか。また、各施設内で感染者が報告され、一定期間閉鎖となるような場合、その後の事業継続に向けた支援策を講じてはどうか。</p> <p>(3) 小中学校に消毒担当専門職員を新たに配置してはどうか。</p> <p>(4) 社会福祉協議会が行っている緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付について、厚生労働省の通知とは異なる取り扱いがされているとのことであるが、市としてそのことをどう把握し、どう対応しているのか。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
25	<p>1. 治水・内水対策について</p> <p>(1) 雨水管理総合計画において短期整備地区とされる本城町排水区の整備計画は、昨今の線状降水帯やゲリラ豪雨に対応できる能力であるのか。</p> <p>(2) 本城町排水区の雨水幹線が整備されれば排水能力が増加するため、国土交通省が設置する現在2機ある排水ポンプの更なる増設について、この機を捉えて整備要求すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 本流である関川の稲田橋から中央橋までの間の土砂堆積による巨大な中州は、増水時における流下能力確保と堤防決壊に脅威である。周辺地域住民は常に心配しているが、国の見解をどう聞いているのか。</p> <p>(4) 関川水系の多岐にわたる課題、保倉川放水路の進捗を含め、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の最終年度を捉え当市における治水対策の進捗状況をどのように総括するか聞きたい。</p>
24番 渡邊 隆	<p>2. 電線の地中化について</p> <p>(1) 主要地方道高田停車場線(一部区間)の電線地中化の必要性については、過去の一般質問において、安全で快適な歩行空間の確保や景観上の観点から必要とされ、県に強い要望を行ってもらい、事業化に向け計画を進めることとされたが、進捗状況はどうか。</p> <p>3. 高田城址公園北側外周の環境整備について</p> <p>(1) 市が示す高田城址公園の整備計画で読み取れない箇所について聞く。高田北城高校対面の外堀外周のガードレールが汚く低い。また、歩道が植栽ますの位置的なこともあり場所により狭く貧弱であり不陸がある。観桜会、観蓮会時の景観も含めどのように捉えているのか聞きたい。</p> <p>4. 県管理の動物保護管理センターについて</p> <p>(1) 過去の一般質問で、県管理の老朽化した動物保護管理センターの状況や今後の在り方について提案し、市長には意を汲んで県への要望に行ってもらったが、その後の進捗状況について聞きたい。</p> <p>(2) 上越地域振興局に隣接する春秋会館(旧高田南保健所)を活用できるように整え、県と協議してはどうかと考えるがどうか。</p>

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
26	1. 上越市第2次総合教育プランの推進について	
1 番 安 田 佳 世	<p>(1) 近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化してきている。上越市においては、平成29年3月に「上越市第2次総合教育プラン」が策定されているが、その後の環境の変化をどう捉えているか。また、環境が急激に変化する現在において、柔軟に対応していく必要があると考えるが、子どもたちの育ちや学びのために、上越市としてどのように取り組んでいくのか聞きたい。</p> <p>2. コロナ禍における移住促進に向けた取組について</p> <p>(1) 昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の生活や考え方が変化していくと思われる。その中で、地方回帰や地方への移住についての関心の高まりも予想されるが、移住促進に向けてどのように取り組んでいくのか聞きたい。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
27	1. かつて全国の地球環境都市のリーダー的存在だった上越市のその後の実態と今後の取組について	
9 番 宮 越 馨	<p>(1) 平成10年に上越市が全国で初めて取得した国際環境改善を目的とする環境ISO14001が全国的に注目され、地球環境都市のリーディング都市として上越市の評価が高まった結果、行政や市民の環境意識も高まり、外国の企業にも注目され、狙いどおりの企業進出もあったが、こうした地球環境都市政策への取組の実態と今後の取組について聞きたい。</p> <p>(2) 昨今の記録的な自然災害などに向き合うためには、今こそ地球の気候変動の改善に取り組むべきと考える。このため、今や世界標準になっている国連からの呼び掛けのSDGs(持続可能な開発目標=持続可能な社会)運動へ積極的に取り組むべきと考えるが、どのように受け止めているか聞きたい。</p> <p>(3) こうした地球環境都市への取組の一環として、地方創生国家戦略として位置付けられている「地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり」として、地方創生SDGsへの取組である「SDGs未来都市構想」を策定して取り組むことは、大変有意義なことと考えるが、今後、このような更なる環境政策への取組についてどう取り組むか所見を聞きたい。</p> <p>2. 戦略的まちづくりと財政運営について</p> <p>(1) 戦略的まちづくりを有効に進めるためには、同時に戦略的な税源涵養策が必要と考える。私は市長時代、戦略的なまちづくりを進めるに当たり、超長期ビジョンであるJプランを市民と共に策定し、土地開発公社制度を有効に活用しながら進めてきた。そして多額の資金を必要とするまちづくり資金を確保するために、巨額な税収が期待できる火力発電所の誘致や新幹線の実現などには、自ら先頭に立ち、大変困難な闘いであったが、それを乗り越え、全身全霊で臨んできた。そ</p>	

令和2年第5回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

こで、今後の上越市発展のためのまちづくり資金の具体的な税源涵養策を聞きたい。

(2) ここ数年、大型箱物が信じられないほど整備されてきたが、今後の財政計画に不安はないのか。また、財政調整基金の在り方についても聞きたい。

(3) 戦略的なまちづくりの一環として、先日開かれた議会と市民の意見交換会において、市民が待ち望み期待する高田城の復元(特に枳形門)や新幹線周辺のまちづくりなどのランドデザインが見えないとする声があった。また、第6次総合計画は総花的であり、都市イメージは分かりにくい、とする市民の意見に対し、分かりやすいまちづくりビジョンを示すべきと考えるがどうか。

3. 大合併の功罪とその評価などについて

(1) 上越市の人口は、合併後に大幅に減少しているが、合併の在り方に問題は無かったか。また、こうした合併の功罪をどう受け止め、特に人口減少をどう食い止めるか、その方策について聞きたい。

(2) 上越市の合併については、理念なき合併のように見えるが、合併後15年経った今、改めてこれからの合併後のビジョンを聞きたい。

(3) どう見ても異常ともいえる中郷区の合併を見直すため、上越市と妙高市との間で合併の見直し協議をすべきと考えるが、合併の見直しを行う考えがあるか聞きたい。